

2023/12/21

令和5年度国立大学図書館協会中国四国地区協会 助成事業

一緒にさわって、考えよう大学図書館の生成AI活用方法：成果共有会

高知大学学術情報基盤図書館 ChatGPT 試行 事例報告

高知大学学術情報基盤図書館
荻 礼子

(学生向け／教員向け)

2023/6/30「卒業論文・レポート等における生成AI（生成系AI）の使用について」

卒業論文やレポート等において生成 AI を使用することは原則禁止

指導教員が意義あると判断した場合は例外とする。

教職員が業務上で利用することへのガイドラインは発出されていない

ChatGPT試行の体制・ルール

体制・ルール	高知大学の場合
試行に参加した職員	1名（担当業務：図書館サービス全般 + 図書館全体に関すること）
ChatGPTバージョン・設定	ChatGPT Plus（GPT-4利用） - Chat History & Training 無効 - プラグイン 利用せず
試行期間	2023年9月19日～ （ChatGPT Plusにアップグレード完了）
ルール	個人情報、機密情報は入力しない 著作権侵害にも注意する
試行内容・手順	図書館サービス関連をメインに自分の担当業務について思いつくまま

試行開始当初

話題のChatGPT、何やらすごいらしい

でも、プロンプトって？
業務効率の改善？
どうやって利用する？どんなことができる？？
何から始めたらいい？？？



今度、試しに使ってみることになった！
なんだか面白そう

どうしよう
わからない・・・（尻込み）

担当業務で使える場面があるか？

とにかく、担当する業務をメインに思いつくままやってみよう（手探り）



図書館サービス係

貸出・返却管理
館内・研究室 蔵書管理
ガイダンス
レファレンス・サービス、ILL
学内ワークスタディ学生の指導



図書館全体

県内図書館との連携、研修会開催
電子ジャーナル関連
オープンサイエンス関連
デジタルアーカイブ
図書館広報誌・・・

試行例の紹介

こんなことにChatGPTを利用してみました（一部）

○：それなりに活用できた

△：活用できる部分、できない部分あり

×：活用できなかった

文章作成・校正

- 研修の開催案内文校正
- 学生便覧の下書き

翻訳

- データベースの利用説明（英文）を和訳

アイデア出し・ブレスト

- 図書館広報誌のネタ出し
- ガイダンス広報のアイデア

特定の主題検索・情報収集

- △ レファレンス・サービス
- × 他大学の情報収集
- △ PCの使い方

表作成

- 箇条書きの内容を表に整理

キーワード抽出

- 文章から文献検索キーワードをピックアップ

分析

- △ 自由記述のアンケート結果を分析

アンケート作成

- ガイダンス事後アンケートの項目作成

資料作成

- △ この成果共有会の資料構成案作成

試行例から ① | アイデア・ヒントをくれる



あなたは大学図書館職員です。
文献検索ガイダンスを実施した後に、今後のガイダンスの
参考にするためのアンケートを取りたいと考えています。
対象は大学生です。
アンケートの項目を考えて、箇条書きで示してください。

学生のニーズに合わせたガイダンスの内容を考えるために
参考にできるアンケート項目はありますか？

今後の参加者数アップにつなげるために
参考にできるアンケート項目はありますか？

そのまま利用はできなくても、新しい視点を得ることが
できる。
質より量を出してもらってChatGPT相手に一人ブレストも。

You

学生のニーズに合わせたガイダンスの内容を考えるために参考にできるアンケート項目はありますか？

ChatGPT

学生のニーズに合わせたガイダンスの内容を考えるためのアンケート項目を作成することは、教育的な
効果を高めるのに役立ちます。以下は、学生のニーズと期待を理解するためのアンケート項目の例で
す：

1. 現在の研究や学習に関する課題:
 - ・ 学生が直面している具体的な学習や研究の問題点について尋ねる。
2. 情報リテラシーの自己評価:
 - ・ 学生が自己評価する情報検索スキルのレベルを把握するための質問。
3. 利用している情報源とその満足度:
 - ・ 学生がどのような情報源を使用しており、それに対してどの程度満足しているかを尋ねる。
4. ガイダンスで学びたい内容やトピック:
 - ・ 学生が特に興味を持っている分野やトピックについての質問。
5. 過去に参加した図書館のプログラムやガイダンスについての評価:
 - ・ 以前に受けたプログラムの有用性や満足度に関するフィードバックを求める。
6. 図書館やオンラインリソースの利用頻度と利用目的:
 - ・ 学生が図書館やオンラインリソースをどれくらいの頻度で、どのような目的で使用しているかを尋ねる。
7. ガイダンスのフォーマットや時間帯の好み:
 - ・ オンライン対面の好み、ガイダンスの実施時間帯についての学生の意見。
8. ガイダンスに関する特別な要望や期待:
 - ・ 学生がガイダンスに対して持つ具体的な期待や要望を探る。

これらの質問を通じて、学生の現在の知識水準、興味・関心、および学習におけるニーズを把握
ことができ、それに基づいてより効果的なガイダンスプログラムを計画することができます。

試行例から ② | 作業時間の短縮



(教員から他機関への参考調査希望。
内容が箇条書きだったものを整理するため。)

1. 以下の情報を表にして。

(1) ○○、○○、○○、・・・

(2) △△、△△、△△、・・・

(3) □□、□□、□□、・・・

単純でも意外と時間のかかる作業を代わりに行ってくれる。
コピーでエクセルに貼り付けも可能。



以下のアンケート結果から、今後の研修で
取り上げるとよいテーマを提示してください。
(以下、アンケート回答を入力)

自由記述の回答をチェックし、整理をするのは大変。
研修テーマの設定等、頭を悩ますことの多い作業も
分析結果を参考にすることで業務補完になる。



(ラテンアメリカ・チリ経済論が専門の先生の
ゼミ生に向けた文献検索ガイダンスの準備)

(先生自身が書かれた研究分野の紹介文を入力し)
研究内容に関連するキーワードを列挙して。

特定の主題について、前提の知識がない場合に有用。
準備が必要な事柄(この場合は文献検索キーワード)の
とりこぼし防止にも役立つ。

試行例から ③ | 思考整理ができる



(リマインドメッセージの自動送信方法)

Excelで作成したシフト表をベースにして、翌日のシフトに入っている人に、前日にTeamsでメッセージを自動送信する方法を教えて。

Excelのマクロを使わない方法を教えて。

Power Automateを使用する方法をもっと詳しく教えて。

質問を重ねていくうちに、最初はぼんやりしていた考えが具体的になったり、シンプルに整理されていく。



You

Power Automateを使用する方法をもっと詳しく教えて。



ChatGPT

Power Automateを使用してExcelで作成したシフト表をベースに、翌日のシフトに入っている人にMicrosoft Teamsで自動メッセージを送信するプロセスは、比較的複雑ですが、以下の詳細な手順で実行できます。

必要な条件

- Microsoft 365アカウント (Excel、Teams、Power Automateにアクセスするため)
- Excelシフト表はOneDriveかSharePointに保存されている
- 各従業員のTeamsユーザーIDがシフト表に含まれている

Power Automateでのフロー作成

ステップ 1: フローの作成

1. Power Automateにログインします。
2. 「フローを作成」をクリックし、「スケジュールされたフロー」を選択します。
3. フローに名前を付け、開始日時と実行頻度（毎日）を設定します。

ステップ 2: Excelデータの取得

1. 「新しいステップを追加」をクリックし、「Excel Online (Business)」を検索します。
2. 「行を一覧表示する」アクションを選択し、対象のExcelファイルとシートを指定します。

ステップ 3: 条件の設定

1. 「新しいステップを追加」をクリックし、「制御」カテゴリから「条件」を選択します。
2. 条件に「日付が明日の日付に等しい」などの式を設定します。これはExcelシートの日付列に対して行われます。

ステップ 4: Teamsへのメッセージ送信

1. 「条件」アクション内の「はい」ブランチに、「新しいステップを追加」をクリックします。
2. 「Microsoft Teams」を検索し、「ユーザーにメッセージを送信」アクションを選択します。
3. メッセージを送信するユーザーとメッセージ内容を指定します。ここで、Excelから取得したTeamsユー

試行例から ④ | プロンプト（指示）がすべて



あなたは大学図書館職員です。
4月に発行する予定の図書館広報誌の内容を考えてください。
広報誌は主に学生、教員に向けて作成しています。

他に目新しい記事があればいいと考えています。
何かアイデアはありますか？

アイデアを出してもらうために、追加で必要な情報が
あれば質問してください。

目的等を明確にして質問するほうが欲しい情報を得られる。
指示の仕方を変えたり、質問を重ねたり、回答の精度を
上げるために逆質問も有効。

礼子 You

他に目新しい記事があればと考えています。
何かアイデアはありますか？

ChatGPT

目新しい記事のアイデアとして、以下のようなトピックを考えることができます：

1. テクノロジーと図書館の未来：最新のテクノロジーが図書館の運営やサービスにどのように影響を与えているかを探る。例えば、人工知能、仮想現実、拡張現実などの技術の活用事例を紹介。
2. 環境持続可能性と図書館：環境に配慮した図書館の取り組みや、持続可能な資源利用の推進についての記事。
3. 学際的な研究の窓口としての図書館：様々な学問分野の研究者が図書館を活用している事例や、学際的なコラボレーションを促進するための図書館の役割に焦点を当てる。
4. デジタル人文科学プロジェクト：デジタルツールを使用して人文科学の研究を行うプロジェクトの紹介。例えば、デジタルアーカイブやテキストマイニングプロジェクトなど。
5. 図書館の歴史と進化：あなたの大学図書館の歴史や、時代と共に変化してきた図書館の役割についての特集。
6. グローバルな視点：世界各国の図書館からの学びや、国際的な図書館コミュニティとの連携について紹介。
7. 学生主導のプロジェクト：学生が図書館と協力して行っているプロジェクトやイニシアティブの紹介。

これらのトピックは読者に新しい視点を提供し、図書館の多様な役割や可能性を示すことができます。

試行例から ⑤ | ファクトチェックや推敲を



幸福度の測定方法について書かれた文献を探して。



質問やアンケートの具体的な内容について書かれた文献はある？



これらの文献を検索するために最適なキーワードは？



日本の中国・四国地方の国立大学図書館において、所属学生が雑誌を何日貸出できるか知りたい。

CiNii Research等で検索できる論文等は含まれずウェブサイトからの情報のみ。

再度同じ質問をすると、具体的な論文を回答してきた（Springer NatureやStanford Universityの刊行物サイトのリンク付き）。

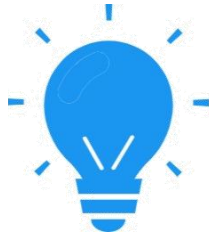
リンクから参照サイトにアクセスすると、内容確認には登録が必要なサイトも含まれており、回答内容をそのまま参考にはできない。

指示どおりの回答をしない（他地域の例を出してくる、私立大学の例を出してくる）。

「ウェブサイトを確認したが雑誌の貸出期間に関する具体的な情報は見つからなかった」「大学図書館のウェブサイトでは雑誌の貸出に関する詳細は掲載されていないようだ」との回答。

Browse with Bing機能の精度には疑問符がつく。

ずばり！使ってみての感想 ① | 役立ったこと



アイデア・ヒントをくれる

考えが行き詰まったときに
多角的な着想を得ることができる

解決できなくても
それはそれで別の視点を得られる



作業時間の短縮

地味に手間のかかる作業を
代わりにしてくれる

生まれた時間で何をするかが大事



思考整理ができる

質問を重ねていくうちに
どんなことで引っかかっていたか
どの点を疑問に思っていたか
どの点の理解が足りなかったか
本当に聞きたいこと＝何がしたいか
整理ができる

ずばり！使ってみての感想 ② | 上手に活用するためには・・・



プロンプト（指示）がすべて

プロンプト次第で回答が違う
具体的、制限をかけた明確な指示で
ほしい回答により近づける
使いこなすにはコツの体得が必要



ファクトチェックや推敲を

ChatGPTでできることもあれば、
できないこともある
信用できる情報か、適切な内容か
自分で検証することが必要

で、実際のところ利用してみてもうだった？

活用できるかどうかは、自分次第

ChatGPTを利用する側も
想像力・創造力が求められているのでは

- ✓ ChatGPTはツールのひとつ
- ✓ 現時点では特定の業務を丸投げできるようなものではなく、作業の過程で利用できるもの
- ✓ 様々なツール、情報にアクセスし、活用できるのが図書館職員業務補完につなげることができれば、図書館サービス拡充につながるかも
- ✓ ChatGPTをはじめとする生成AIを活用していく上では、適切な利用方法に加え、それらから得られる情報を検証し、真偽を判断できる術を身に付ける必要

今回ご紹介した事例については、あくまで私の試行結果とその所感です。
ChatGPTが使える場面があれば、使えない場面も。
同じ目的でも、使う人によって、違った結果になったり、もっと上手に活用できることもあるはず。

必要以上に怖がらず、過剰な期待もせず・・・
「ちょっと試してみようか」ぐらいから！

ご清聴ありがとうございました